

つくろう!



マイ・タイムライン

かがやくけん、かがわけん。
香川県

マイ・タイムラインで風水害に備えましょう

雨や風は事前に予測できるので、風水害が発生する前に避難をすることができます。しかし、その時になってからいろいろ考えては、逃げ遅れてしまうかもしれません。今のうちに、マイ・タイムラインを作っておきましょう。マイ・タイムラインとは、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めたものです。マイタイムラインの作成を通じて、しっかり準備をすすめ、風水害から身を守りましょう。

マイ・タイムラインが役立つ3つのとき

1 台風が近づいているとき

河川の氾濫・土砂災害・高潮の発生のおそれがあります。

- 台風が接近・上陸すると強風や大雨を伴い、高潮を引き起こすこともあります。
- 台風の経路は予報と変わる可能性があるため、天気予報をこまめに確認しましょう。

2 大雨が長引くとき

河川の氾濫・土砂災害の発生のおそれがあります。

- 梅雨前線、秋雨前線が同じ場所から動かないときや線状降水帯が発生したときは、大きな災害に結びつくことがあります。



3 短時間の急激な豪雨が发生时

河川の氾濫・土砂災害の発生のおそれがあります。

- 短時間の急激な豪雨(ゲリラ豪雨)は7~9月頃に発生しやすく、1時間に50mm以上の非常に激しい雨が降ることがあります。
- 晴れていても、天気予報で「大気の状態が不安定」や「雷注意報発表」などという言葉を目にしたら注意しましょう。



マイ・タイムラインをつくるための2つのポイント

ポイント 1 ハザードマップで災害リスクを確認する

ハザードマップ(防災マップ)を使い、自宅や自宅近くに浸水や土砂災害のおそれがないか確認しましょう。災害リスクがわかると、どの情報を入手すればよいか分かります。

自宅にハザードマップがない場合の入手方法

1 市役所・町役場

2 自治体のホームページ

3 かがわ防災Webポータル

4 防災アプリ「香川県防災ナビ」

QRコード

Google play

App Store

防災ナビの主な機能

- ① 危険なエリアにいる利用者へのプッシュ通知
- ② ハザードマップ・避難所情報の地図表示
- ③ 避難所等へのルート検索
- ④ 家族等の安否確認
- ⑤ 防災アプリ内でマイ・タイムラインの作成が可能

ポイント 2 防災気象情報や避難情報を確認する

気象庁が発表する気象情報や市町が発令する避難情報の、意味や入手方法を確認しましょう。避難の準備や開始のタイミングを決める目安となります。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難! ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	各種注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限りません。詳しくは… [気象庁 警戒レベル](#) 検索

### マイ・タイムライン使用時の注意点

台風や大雨などの自然現象は、想定したとおりに進行するとは限りません。実際にマイ・タイムラインを使用する際には、次のことに注意して行動してください。

- ① マイ・タイムラインは、あくまで行動の目安。
- ② 防災気象情報や避難情報などをこまめに収集・確認。
- ③ 収集・確認した情報をもとに、臨機応変に判断。





# マイ・タイムラインをつくろう



## 1 いつを想定したマイ・タイムラインかを記入しましょう。

- 台風が近づいているとき **←まずは台風からつくってみよう!**
- 大雨が長引くとき
- 短時間の急激な豪雨が発生するとき

## 2 避難場所を決めましょう。

- 市町が指定した避難場所(災害の種別ごとに指定されています)だけでなく、安全な場所にある親戚や知人宅、ホテルなどへの避難も検討してみましょう。自宅の安全が確保できれば、危険をおかしてまで避難場所に行く必要はありません。
- 避難場所まで行く安全なルートや移動手段も決めておきましょう。

## 3 避難のタイミングを決めましょう。

- 気象情報や避難情報をもとに、避難の準備や開始、完了のタイミングを考えましょう。
- 高齢者や子どもなど、避難に時間のかかる家族がいる場合は、早めに避難しましょう。
- 遅くとも、「避難指示」が発令されたら、危険な場所にいる人は全員避難しましょう。

避難のポイント

**!** 台風が近づいているとき…  
風が強くなる前に避難しましょう。強風のときは移動が困難となります。

**!** 大雨が長引くとき…  
山やがけが崩れやすくなります。避難情報や「土砂災害警戒情報」を聞いたら、早めに避難しましょう。

**!** 短時間の急激な豪雨が発生するとき…  
急に強い雨が降り出すため、避難の準備のための時間はほとんどありません。避難場所までの移動が困難な場合は、頑丈な建物の2階以上など、より安全な場所へ避難しましょう。

## 4 避難開始までに、いつ、何をすべきかを考えましょう。

避難を始めるまでの時間に自分や家族がしなければならない準備と、する順番を考えましょう。時間の経過を考えながら、どのタイミングでどの行動をとるのかを決めましょう。



( ) ときのマイ・タイムライン

避難場所 【 】( )で( )分  
【 】( )で( )分

警戒レベル <b>5</b>	緊急安全確保 	命の危険 すぐに安全確保!	たとえば
警戒レベル <b>4</b>	避難指示 		
警戒レベル <b>3</b>	高齢者等避難 		・避難しやすい服装に着がえる ・インターネットで川の水位を調べる
警戒レベル <b>2</b>	各種注意報(気象庁) 		・ハザードマップで避難場所を再確認 ・携帯電話を充電
警戒レベル <b>1</b>	早期注意情報(気象庁) 		・足りない防災グッズがないか確認 ・天気予報をこまめにチェック

※警戒レベルは必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限りません。

